



私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所 スタッフ一同

ベアレンの社内定例会

畠田 洋一 | 代表取締役社長

今回はベアレンの社内定例会を紹介いたします。ベアレンではライフの充実の場を多く作ることで社内の交流促進、業務へのプラスを図っています。

『ティスティング勉強会』

毎月一回、ティスティング

能力の訓練とビールスタイルの勉強のため開催しています。様々な試飲方法で当社ビールを試飲し、その違いなどを見極めます。これがないと難しい。そして、テーマを決めた様々なビールを集め、その特徴などを試飲しながら学びます。色合い、香り、味わいなどの項目に分けてしっかりコメントもできるように訓練しています。最後は残ったビールとそのほかのビールも登場しての交流会になっていきます。かなりレアなビールも用意したり、楽しい時間が続きます。ちなみに、うちの社内の飲み会は基本、ずっとビールですね。みんなよほど好きなんだと思います。

『英会話教室』
こちら毎月一回、外国人の英会話の先生をお招きして、英会話を学びながら英語オンラインでビールを飲みながら楽しむ会です。英語が流ちょうなスタッフは多くないので、みんなブロークンな日本語交じりの英語になったりしていますが、ビールが入ると大胆になれるのか、楽しんで英会話を学んでいます。また、講師からは様々な外国の文化などの紹介もあるので、勉強にもなります。そして、すごくいいのは会話がとっても平和だということ。英語で難しい話をできるほど流ちょうなスタッフがいまないので、中学生のような英語でとてもやさしい穏やかな内容の会話にほっこりします。

以上は社内のスタッフのみの会ですが、その他にお客さまも交えたものとして



『英会話教室』



『ティスティング会』

世界中のビールを楽しむ『ビール会』、何度かご紹介している『ベアレンランニングクラブ』など様々な交流の場でビールを楽しんでいます。ビールの楽しみはまだまだ無限にあるなど感じる日々を過ごしています。

BAEREN

ベアレンニュース2025年9月号 No.239

編集：総務部

〒020-0061 岩手県盛岡市北山1丁目3-31

ベアレン醸造所

リレーエッセイ
畠田 賢太郎 | 製造部北山工場

こんにちはー愛奈さんからバトンをもらい書かせていただきます。まずは、先月に結婚式を挙げましたことをご報告いたします。その日の夕方にはウェディングパーティーも開催いたしました。来ていただいた皆さま、本当にありがとうございました。ございます。この場をお借りして感謝申し上げます。

そして、今回は「わたしとベアレン」について話そうと思います。ベアレンニュースの中で一番好きなコラムなのですが、お客さまとベアレンをつなぐ色々なエピソードがあり毎月楽しく拝見しております。皆さんとベアレンビールとの初めての出会いはいどんな時



でしたか？直営店、オクトーバーフェスト、ふらっと入った居酒屋さん、色んな出会いがあったと思います。私のベアレンとの一番古い記憶は小さいころ昔の県営球場で野球を見ながらビールを飲んでる父親やお客さまと一緒にいるところですね。(もちろん、未成年だったので私は飲んでいませんが笑)外野席の芝生の上で打った取ったに一喜一憂し、みんなで楽しそうにしているのを見て私も身も楽しくなったのを覚えています。ベアレンビールにはいろんな人と人を繋いでハッピーにしてくれる力があると思います。そんな思い出がベアレンに就職しようと思っただきかけの一つでした。この段落で約300文字です。皆さんの投稿お待ちしております。

次回は、ウェディングパーティーで場所を貸していたいただいたピアベースの店長、園尾さんをお願いします！

今月の新製品

菅原 奈々 | 総務部

今月はオクトーバーフェストに欠かせないこのビール「ベアレンフェストビール」のご紹介です！

「お祭りビール」とは、意味で、毎年ドイツで行われる世界最大のビール祭りでも親しまれるリッチな味わいの本格ラガーです。麦芽由来の甘みと濃厚な味わいで色はやや濃い目の褐色。秋の味覚にもよく合います。

そして今年、「ベアレン オクトーバーフェスト」は20周年をむかえます。テーマは「つなげようビールの輪」。皆さんで乾杯して、笑顔の輪を繋げましょう！前売りチケットは無くなり次第終了ですので皆さまお早めにご予約！それでは当日、北山工場お待ちしております！



編集後記

都鳥 勇介 | 総務部

まだまだ暑さが居座る9月。汗ばむ陽気が続きますが、暦の上では秋。私は今年、「読書の秋」をテーマにしています。お供はやはりベアレンビール。ページをめくりつつ、気ままにグラスを傾ける、そんな贅沢な時間を過ごせたらいいなと思います。



各アカウント「覧はこちら」

今月の一枚



MOYANEプロジェクトから生まれた『MORIOKA TWILIGHT LAGER』の商品発表会が岩手銀行赤レンガ館前で行われました。盛岡の夕暮れ時の美しさをラベルに描いた本商品は市内限定発売です。盛岡でしか出会えない、特別な一本をぜひ。

プレミアムホップツアー

山本 智也 | 営業部直販課

8月10日(日)、雫石町にて「ベアレンプレミアムホップツアー²⁰²⁵」を初開催いたしました！ご参加いただいた皆さま、そして応援してくださった皆さま、誠にありがとうございました。

今回のイベントは、工場見学・ホップ畑での収穫体験・飲み放題付きのビアタイムを一日で体験できる、ベアレン初のプレミアム体験型ツアーでした。まずは、ベアレン雫石工場の見学ツアーからスタート。タンクや醸造設備を間近で見ながら、ビールができるまでの工程やこだわりを五感で感じていただきました。普段、なかなか見ることのないビール造りの現場ということもあり、参加者の皆さまも真剣そのもの。

そしてラストは、セツ森地域交流センターでの3時間ビアタイム。唐揚げ(かし和の郷)、ソーセージ(ポールスターファーム)、ベアレン直営店のおつまみなど、ビールに合う地元の味とともにグラスを片手に乾杯！とてもあたたかい雰囲気にも包まれた時間となりました。

今回のイベントは、ベアレンが主体となって開催いたしました。その実現には日頃からホップ栽培を支えてくださっている雫石ホップチャレンジの皆さまのご協力があったこそです。この場をお借りして、感謝申し上げます。また、セツ森地域交流センターという地域施設の新たな活用方法や、ホップウォーターの試験提供などを通して、今後の可能性も多く見えてきました。『畑からグラスまで』の一日を通じて、ビールをもっと好きになるきっかけになっていただけなら嬉しいです！次回はさらにパワーアップして、また皆さまと一緒に乾杯できる日を楽しみにしています！

レストラン便り

今野 克伸 | 菜園マイクロブルワリー



この夏、ベアレン直営店では、いつもの店舗営業に加え、市内で開催されたさまざまなイベントに出店させていただきました。おかげさまで、たくさんの方々

とビールを通じた楽しい交流ができました！例えば、ビアベースでは、盛岡の夏の風物詩、さんさ踊りの期間中、店頭でのビール販売を実施。通りの賑わいの中で多くの方が立ち寄ってくださいました。また、盛岡駅前開運ホコ天にも出店し、青空の下でグラスを片手に語らう光景も印象的でした。菜園BBは、毎月第4日曜日に大通りで開催される、

大通りパラダイスでの出張販売を継続中。いつもとは違う場所での営業は新鮮な刺激がいっぱいです。そして、中ノ橋店では、盛岡バスセンターの屋上で開放的な雰囲気の中、ビールを販売。また、イベントでは学生アルバイトさんたちも大活躍！元氣いっぱいの声でビールを売り、夏の思い出をキラキラした笑顔で彩ってくれました。

このように、直営店それぞれが街に出て、お客さまとの距離をぐっと近づける夏となりました。イベントはまだまだ続きます。9月6日(土)は駅前開運ホコテン、毎月第4日曜日には大通りパラダイスが開催予定です。さらに、10月4日と5日の2日間、昨年好評だった岩手クラフトビールフェスの開催が決定。ベアレンのビールを通じて、皆さまと出会えることを楽しみにしています。ぜひ、遊びに来てください！

エコチーム活動報告

中村 大和 | 製造部北山工場



こんにちは！ベアレンエコチームの中村です。今回は、エコチームの活動のひとつ「ベアガーデンの整備」についてご紹介します。

ベアガーデンとは、北山工場の敷地内にあるレンガ敷きのエリアです。普段はビールを楽しんだり、貸し切つてBBQを行ったりと、さまざまな用途でご利用いただけます。エコチームでは、このベアガーデンを訪れるお客さまにより楽しんでいただけるよう、季節ごとのお花や通年で育てるホップの苗を植えています。ビールに使われる前のホップを目にする機会は意外と少ないので、工場にお越しの際はぜひご覧ください。今年は、春にパンジー、夏には朝顔

わたしとベアレン

投稿者 | 金澤哲哉さま

全国を転動している私が初めて盛岡を訪ねたのは、十数年前の出張でした。百年前の設備を使っているブルワリーがあるって聞いて、材木町の直営店を訪ねてクラシックを飲んだことを思い出します。

その後も出張や旅行で訪れるたびに、中ノ橋にビアバーができたや聞けば訪ねたり、時間がない時はめんこい横丁にあったビア&ヴルストで一杯だけ引っ掛けて新幹線に飛び乗ったりと、たくさんお世話になりました。縁あってこの度盛岡へ赴任となり、今度はいつでもお店で飲めるのを楽しみにしています。当時のお店がなくなったり新店が生まれたりの変化はありますが、クラシックを飲むといつもその時どきへ時間旅行している気分になります。

※たくさんのご応募、お待ちしております。



↑応募はこちら

